

令和3年度第1回寒川町生涯学習推進会議（書面会議）結果

- ・資料発送日
令和3年7月28日（水）
- ・意見等提出期限
令和3年8月12日（木）

1 議 題

(1) 会長・副会長の選出について（資料1・2）

資料1・2により承認。
秋葉真之委員を会長として選出
中島寛明委員を副会長として選出

(2) 「寒川 学びプラン」令和2年度事業報告及び第3期実施計画(平成28年度～令和2年度)事業実施状況(案)について（資料3）

資料3により確認、了承。

(意見等)

- 支援センターの立場から、実施状況の詳細をお伝えさせていただきます。
No.8「子育て支援センター事業」の令和2年度実施状況について、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月3日以降5月22日までひろばは閉所、電話相談、利用者へのアプローチ、HPでの発信は継続して行っていた。5月25日より6月15日まで1組ずつ時間を制限し、予約制の来所による相談のみの実施。6月16日以降、人数を制限し、予約制でひろばを開所した。
- 5年目(最終年度)に突然コロナ禍のために中止、延期を余儀なくされたことは非常に残念だったと推察いたしました。しかし、どの事業も何とかその状況を打開しようと力を合わせて進められた経験は尊く、今後の事業の見直すべき点と重点を置くべき箇所が担当の課や関連する方々で共有できたのなら、財産が増えたと言えると思います。実に多くの事業や広報等の活動が町内にあることを初めて知りました。その1つでもつながり、町民の皆さまがライフワークを開拓できるということを知るべきですね。
- 令和3年度はコロナ禍で活動が難しい場面が多々あったと存じます。その中で数々の事業に取り組まれていたこと感謝申し上げます。
- 新型コロナウイルス発生の為、目標達成が出来なかった項目が多数見受けられた中で、評価全体がアップしている。評価全体があまいのではないかと感じる。
コロナ、コロナで逃げている様になれる。
<意見に対する考え方>
令和2年度事業は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、予定して

いた各事業が中止や縮小となり、実績値が減った結果、令和元年度と比べると評価が下がっている事業が数多くあります。評価結果をみてみますと、C評価（目標数値に対して70%未満）とD評価（事業を実施できなかった）が全体の約6割を占めていますが、これは目標数値に対する実績値の達成率による機械的な評価によるものです。また、数値だけでは、はかることができない面もありますので、事業の成果・課題等で示しております。

一方、第3期実施計画期間（平成28年度から令和2年度の5年間）の評価につきましては、実績値の達成率という機械的な評価ではなく、総括的な評価のため、各担当課が事業の実施状況を総合的に判断し、評価しております。そのため、令和2年度事業の実績値や評価が低かったとしても、5年間の実施状況を総合的に判断しておりますので、令和2年度事業評価より評価が高くなっている事業もあります。

- 事業の成果、課題や第3期実施計画の評価理由に抽象的な書き方をしている。具体的に書く必要がある。何が良かったのか何が悪かったのかの明記が必要。（数値で表せるものは数値記載も必要）

<意見に対する考え方>

今後は、ご指摘のとおり具体的な理由となるよう事務局としても各担当課に依頼してまいります。

- コロナ禍での活動を拝読いたしました。大変な中における活動に感心しました。

(3) 「第2次寒川 学びプラン」令和3年度実行計画について（資料4・5）

資料4・5により確認、了承。

(意見等)

- 良い取り組みをもっと増やすためには、「経験者を増やすこと」、「参加→参同」する人によっていくこと、「企画に加わってくれる人を育てていくこと」などが必要だと思います。それぞれの持ち場で自分を生かそうとする人材の育成をどうするかが大きな鍵を握っていると感じます。

- No.44「大学等の教育機関との連携」につきましては、出来る限りご協力させていただければと思っております。時期がきましたら、またご相談させていただければ存じます。

- 目標数値について、コロナ禍という状況を目標数値に反映しても良いのではないのでしょうか。例えば、室内会場で実施する場合はソーシャルディスタンスを踏まえて1mの間隔を取った場合、何名の席が確保できるか、また単純に収容人数の50%など。まだまだ収束が難しいコロナ禍という新様式の数値が望ましいと考えます。

<意見に対する考え方>

依然として、新型コロナウイルス感染症の収束が見込めない中、今年度につきましても、各事業に影響がでている現状です。ご提案のようにコロナ禍という状況

を鑑みて目標数値に反映するというような考え方もあるのかもしれませんが、本プランは「寒川町総合計画 2040」と整合性を図り、関連する個別計画等とも連携した取り組みを進めておりますので、現時点ではそのような目標指標にすることは難しい状況です。

○町の公園、緑地、田道を巡回し、住民に迷惑のかけない環境にしてほしい。町で植えた樹木だから町で管理すべき。

<意見に対する考え方>

町の公園、緑地等の担当課である都市計画課にご意見を伝えております。

○目標数値の算出根拠が過去の実績を基に算出と書かれていても（特に学び推進課）、目標数値の設定が妥当なのか判断できません。具体的な（数値等）記載が必要です。

<意見に対する考え方>

今後は可能な限り、算出根拠として「過去の実績を基に算出」という記載だけではなく、具体的数値を記載してまいります。

○目標数値の単位が回数の事業は、将来的には参加人数も目標数値に入れる工夫をして下さい。（極論ですが、目標回数5回で、実施回数5回、ただし、参加者0だったとしたら、現状ではA判定ですが、本当にそれで良いのか疑問です）

<意見に対する考え方>

事務局としましては、事業の回数と参加人数の両方を目標数値に入れることは、現時点では考えておりません。事業の成果の欄に、必要に応じて参加人数を記載することは可能だと思われまます。

○「学ぶ」「活かす」「つながる」生涯学習の内容が実働として深まっていくことを期待しています。

<資料>

資料1 令和3・4年度寒川町生涯学習推進会議委員名簿

資料2 寒川町生涯学習推進会議設置要綱

資料3 「寒川 学びプラン」令和2年度事業報告及び第3期実施計画(平成28年度～令和2年度)事業実施状況(案)について

資料4 「第2次寒川 学びプラン」

資料5 「第2次寒川 学びプラン」令和3年度実行計画(案)について